令和５年度第3回ちば新事業創出ネットワークセミナー

ものづくりにおける センシングやシミュレーションの活用

～産学連携や補助金を活用した製品開発事例～

企業の商品開発や品質保証に際しては、各種分析、解析を適切に活用することが有効です。特に物の状態や現象を適切に捉えることは非常に重要となります。今回のセミナーでは、ものづくりの工程把握や現象の予測や解析について考えます。併せて、中小企業における産学連携や補助金を活用した取組事例をご紹介します。

～講演１～
“ものづくり”の要素技術としての計測および数値シミュレーション技術の開発と適用

日本大学　生産工学部
機械工学科
特任教授　高橋　進　氏

～講演２～
ソフトセンシングを活用したものづくり

株式会社ＹＧソリューションズ
ＣＯＯ　金　秀英　氏

～講演３～
様々な補助金を活用した製品開発事例の紹介

三井電気精機株式会社
専務取締役
三井　保宏　氏

～日本大学の施設見学会や名刺交換会も開催します！～

〈日　時〉**2024年2月8日（木）13：00～16：40** ※受付開始12：30～

〈参加費〉無料

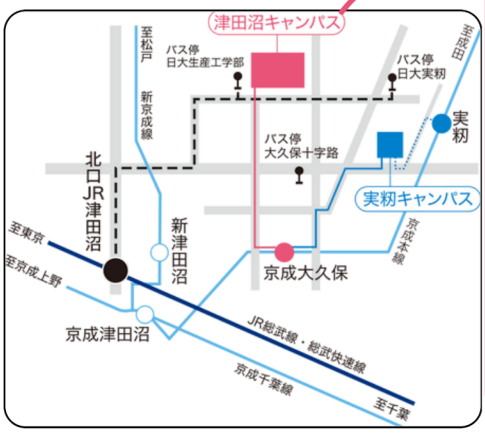
〈定　員〉50名 ※施設見学会は先着30名（定員に達し次第締め切ります）

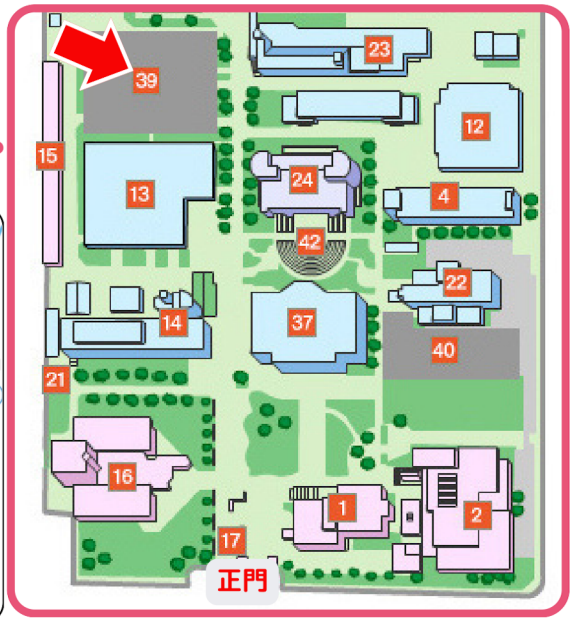
〈会　場〉

日本大学 津田沼キャンパス
39号館 3階 302教室
（千葉県習志野市泉町1-2-1）

・京成本線「京成大久保駅」から徒歩約１３分
・「日大生産工学部」バス停から徒歩約４分

※３９号館(生産工学部６０周年記念棟)は、津田沼キャンパス正門から真っ直ぐ進んだ先にあります。





申込方法

下記URLまたはQRコードから（公財）千葉県産業振興センターのHPにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、お申込みください。
FAXでもお申込みいただけます。（裏面をご覧ください）

https://www.ccjc-net.or.jp/contents_detail.php?frmId=3568

（主催）公益財団法人千葉県産業振興センター

講演１ 13：10～	**“ものづくり”の要素技術としての計測および数値シミュレーション技術の開発と適用** **日本大学　生産工学部　機械工学科　特任教授　高橋　進　氏** 金属薄板のプレス成形等の加工技術では、金型の開発期間短縮がタイムリーな部品開発のために必須となっている。また、自動車では、軽量化のニーズから、より強度が高いが成形性が低い材料の適用が期待されている。そこで、サポインおよび共同研究等での金型の開発に適用可能な、成形の見える化および数値シミュレーションの適用事例等について、概要を述べる。
講演２ 14：00～	**ソフトセンシングを活用したものづくり** **株式会社ＹＧソリューションズ　ＣＯＯ　金　秀英　氏** センシングでは得にくい情報をシミュレーションと連携することで確かな判断を実現するソフトセンシング技術の概念を解説するとともに活用事例を紹介する。
休憩・名刺交換	
講演３ 14：55～	**様々な補助金を活用した製品開発事例の紹介** **三井電気精機株式会社　専務取締役　三井　保宏　氏** 当社では創業以来理化学機器を中心に製品開発から販売を行ってきました。その中で補助金を活用した製品開発事例として超音波ホモジナイザーの先端工具の開発及び全自動遠心分離機の開発事例をご紹介いたします。
施設見学会 15：35～	**日本大学生産工学部（津田沼キャンパス）施設見学**
名刺交換・交流	

（切り離さずこのままFAXしてください）

令和6年２月８日開催　**令和５年度第3回ちば新事業創出ネットワークセミナー　参加申込書**

下記申込書にご記入の上、千葉県産業振興センター宛てFAX（047-426-9044）にてお申し込みください。

企業名		業種（事業内容等）		
所在地	〒　　－			
ＴＥＬ		FAX		
参加者	所属・役職名	ふりがな 氏　名	メールアドレス	施設見学会参加希望
				有　・　無
				有　・　無
				有　・　無

本申込書にご記入いただいた個人情報は、本事業の開催に係る参加者の確認、参加者名簿の作成、出欠確認、本事業運営に関する連絡及び当センターで主催する各種講座等の情報提供の目的のみに使用いたします。

問い合わせ先

公益財団法人千葉県産業振興センター
新事業支援部　産学連携推進室（担当：渡部）
TEL：047-426-9200　　FAX：047-426-9044
E-mail：sangaku@ccjc-net.or.jp